

米国子会社DPEのクロロプレンゴム製造設備の暫定停止とその効果

米国子会社DPE (Denka Performance Elastomer LLC) は、クロロプレンゴムの生産拠点である当社青海工場に加え、主要ユーザーが多く立地面で優位な北米に第2生産拠点として2014年12月に設立されました。2015年11月にはE.I. DuPont de Nemours and Company (以下「DuPont」) から同事業を譲り受け、米国でのクロロプレンゴム生産を開始し事業を展開してきました。

しかしながら、コストの上昇、生産数量の減少、要員面の問題や世界的な需要後退により、当面の収益性の改善は困難な見通しです。

コストの上昇については、DPEがDuPontから製造設備を取得した時点では必要と想定されなかったクロロプレンモノマーの排出削減設備の設計・導入および運用に係るもの、排出削減設備の運転やその他排出削減対策の実施に必要なエネルギーコストの上昇や必要要員の確保面での困難さ、米国内のインフレによる主要原材料費や修繕費上昇の加速を含む、様々な要因に起因しています。

このような状況から、DPEは、2025年5月13日の当社プレスリリースでお知らせした通り、定期修繕中で安全な状態で生産停止中のクロロプレンゴム製造設備について再稼働せずに、期限を定めず暫定的に停止し、同事業について事業譲渡や資産の譲渡の可能性を含めあらゆる選択肢を検討することとなりました。

収益性の改善が困難な根拠

コスト上昇	- 取得時点では必要と想定されなかった排出削減設備の設計、導入および運用に係るコスト - 排出削減設備の運転やその他の排出削減対策の実施に必要なエネルギーコストの上昇と必要要員の確保面での困難さによるコスト上昇 - 米国内のインフレによる主要原材料費や修繕費上昇の加速
要員面の問題	全般的に要員の確保・維持が難しくなっていること
生産数量の減少	- 排出削減対策の実施に伴う操業上の制約 - サプライチェーンの寸断および自然災害に伴う計画外停止等
世界的な需要後退	世界経済環境の変化によるクロロプレンゴムの需要後退

米国子会社DPEのクロロプレンゴム製造設備を 期限を定めず暫定停止 事業譲渡・資産譲渡の可能性を含めあらゆる選択肢を検討

暫定停止とその効果

特別損失

2024年度: 固定資産減損損失約161億円を特別損失に計上

営業利益

2025年度: +90億円(2024年度比)、
2026年度: +150億円(2024年度比)を見込む

純利益

2025年度: 特別損失発生の可能性もあるも、特別利益で補填の考え

